

## 第26回原状回復対策協議会（11月3日開催）の協議結果について

### 1 冬期運搬について

本年度の冬期運搬については、廃棄物の推計総量が増加する見込みとなったため、昨年度試行しました結果を踏まえ引き続き冬期運搬を行ないます。

搬出量は通常運行の半分程度とし、安全対策には特に留意しながら運搬しますので、よろしくお願いいたします。なお、暴風雪警報発令時高速道路閉鎖時は運休とします。

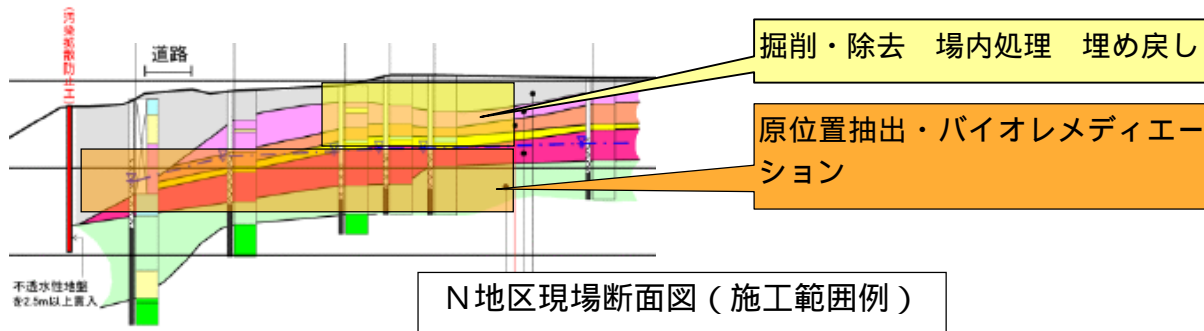
### 2 県境不法投棄現場（N地区）における土壌汚染対策について

現場南側の廃ドラム缶が多数埋まっていたN地区での汚染土壌対策について、公募による技術提案の検討結果に基づき、下記のとおり行ないます。

ボーリングにより10mメッシュ単位で深度1mごとに汚染状況を調査し、土壌汚染対策法の環境基準に基づき工事区域を確定します。

地下水位（8m程度）より上の汚染域は、汚染土壌を掘削・除去し、ホットソイル工法<sup>1</sup>で場内処理し、環境基準以下であることを確認後、埋め戻します。

地下水位より下の汚染域は、その場で、揚水等による汚染の抽出処理と微生物の働きで汚染物質を分解するバイオレメディエーション<sup>2</sup>等による処理をあわせて行ないます。



#### 1 ホットソイル工法

揮発性有機化合物（VOC）によって汚染された土壌に、ホットソイル（生石灰等）を添加・混合し、化学反応によって発生する熱によってVOCを揮発・分離させて汚染土壌を浄化する工法。

#### 2 バイオレメディエーション

微生物等の働きを利用して汚染物質を分解することによって土壌地下水等の環境汚染の浄化を図る技術。

## 廃棄物の撤去状況について（平成19年10月末現在）

表：19年度の月別撤去量（代執行）

月	撤去量 (トン)	進捗率 (%)
19年4月	2,348	6%
19年5月	3,277	13%
19年6月	5,547	27%
19年7月	3,448	35%
19年8月	3,621	43%
19年9月	3,179	51%
19年10月	4,399	61%
合計	25,819	

平成19年度撤去目標量 42,000トン

これまでの撤去実績(H19.10末)



岩手県側の推定総量 256,800トン のうち、44%（累積撤去量 112,489t）を撤去しました。

撤去作業の進捗に伴い、廃棄物の推定総量が256,800トンになる見込みです。

なお、平成24年度撤去完了のスケジュールに変更はありません。